

uP!!!SPECIAL  
**LIVE HOLIC**  
supported by  SPACE SHOWER TV

**BIGMAMAと緑黄色社会が京都で激突!**

**注目アーティストによる2マンイベント、「LIVE HOLIC vol.25」開催!**



BIGMAMA



緑黄色社会

撮影=渡邊一生、今村優波

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と、KDDIとびあが提供するエンタテインメント・サービス「uP!!!」が主催するライブイベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.25 supported by SPACE SHOWER TV」が、10月14日(月)、京都MUSEで開催されました。

「LIVE HOLIC」とは“今”の日本の音楽シーンになくてはならない圧倒的存在感を誇るアーティストによる2マンイベント。一度聴いたら離れられない…そんな中毒性を孕んだライブをお届けしています。

過去には札幌、福岡、名古屋、岡山、東京、大阪、仙台、新潟、広島、福島、金沢、静岡、横浜で実施。また、2017年3月にはvol.1~7までの全出演アーティストが集結した「LIVE HOLIC extra」を東京・新木場STUDIO COASTにて2DAYS開催。2018年の1~2月には初の全国5都市を巡る全国ツアーを実施、そして今年3月にはイベントの5周年を記念し、過去の出演者が幕張メッセイベントホール2DAYS&大阪なんばHatchに集いました。

今回の京都公演には、独自の魅力的なメロディーと歌詞が多くファンを惹きつけてやまないBIGMAMAと、ROCK×POPSを体現する新時代のパイオニア・緑黄色社会の対決が実現。この2マンライブは「LIVEHOLIC」が初となります。激しく、そして美しい時間に京都のオーディエンスも熱狂!大盛況のうちに幕を閉じました。このイベントの様子は11月にスペースシャワーTVにて60分の特別番組としてオンエア致します。一度聴いたら離れられない…そんな中毒性を孕んだライブは必見です!

つきましてはライブレポートおよびライブ写真素材をお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけますと幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。

● **《イベント概要》**

イベントタイトル: uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.25 supported by SPACE SHOWER TV

日時: 2019年10月14日(月) OPEN17:00 / START18:00 場所: 京都MUSE

出演: BIGMAMA、緑黄色社会

チケット料金: 4,300円(税込) ※別途ドリンク代600円

主催: SPACE SHOWER TV / KDDI 企画/制作: SPACE SHOWER TV

イベント公式サイト <http://www.spaceshowertv.com/liveholic/> (WEB/MOBILE共通)

**このイベントの様子は11月にスペースシャワーTVで特別番組としてオンエア!**

スペースシャワーTV 「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.25 BIGMAMA×緑黄色社会」

初回放送: 2019年11月15日(金) 22:00~23:00 他

視聴方法→<http://www.spaceshowertv.com/about/howto/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク メディアマーケティング部 宣伝・PR課

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215

担当:中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net

<ライブレポート>

音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と、KDDIとぴあが提供するエンタテインメント・サービス「uP!!!」が主催するライブイベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC supported by SPACE SHOWER TV」。初顔合わせとなる先輩バンドと後輩バンドの2組が火花を散らすこの対バンイベントは、2014年7月の札幌を皮切りに、福岡、名古屋、岡山、東京、大阪、仙台、香川、新潟、広島、福島、金沢、静岡、横浜などでこれまで開催されてきた。

今回の【LIVE HOLIC vol.25】は、初となる京都MUSEで、BIGMAMAと緑黄色社会が初顔合わせのツーマンを披露。

1組目に登場したのは緑黄色社会。1曲目「またね」がギターボーカルの長屋晴子の歌い出しから始まる。透き通った声に荒々しい演奏が合わさっていく。まさにライブハウスで聴いているという臨場感がある。続く「Alice」などはハンドマイクひとつで歌うが、そうする事で動きも増え、より長屋の存在感を感じる事が出来た。ギター小林杏誓とベース穴見真吾のソロも映える。最初の荒々しいフレッシュさから、手拍子も起きるリズムカルな楽曲まで幅広い。

長屋は、自身のバンドを「“VS”というような性格のメンバーがいなくて穏便でアットホーム」と評する。すると穴見が自らを「パチパチ担当」と名乗ったり、しっかり自分たちのノリでイベントについて話すのも面白かった。ライブが開催されたこの日は月曜日だったが、“祝日だから今日は日曜日”という事にして歌われた「にちようび」。穏便アットホームながら、リズムカルで、その上この曲のようなアップテンポなビートで突き抜けていく力強さを感じる。

長屋はBIGMAMAを中学生の頃から聴いていて、彼らを目当てにフェスにも言っていた事を明かした。そして、後輩という気持ちだけでは駄目で、先輩後輩という関係じゃなくなるくらい、自分たちが大きくならなければという事を話したが、いや、もう、この宣言は全く穏便アットホームじゃないし、むちゃくちゃパチパチ感でしか無かった。新曲「Alright!!!」を初披露し会場のボルテージを上げたあと、ラスト2曲「あのころ見た光」、「始まりの歌」で完全にフロアを巻き込み、出番を終えた。

続いて、BIGMAMA。1曲目「SPECIALS」から観客たちが歌い出す。緑黄色社会のライブで盛り上がった後とは言え、1曲目から歌い出すのは流石に凄い。続く「ダイヤモンドリング」もそうだが、柿沼広也のギターがとにかく一瞬で惹きつける魅力がある。ロックとクラシックを融合させた楽曲がBIGMAMAのひとつの醍醐味だが、「Swan Song」では東出真緒のヴァイオリンが鳴り響く。まさに真骨頂のサウンド。最初からフルスロットルで飛ばし、観客の心を鷲掴みにしている。

「mummy mummy」では、ボーカルの金井政人がハンドマイクで歌うが、より自由度を増し、伸び伸びとステージを動き回る。観客の帽子を取って、自分で被ったり、メンバーに被せていったりと心の底から楽しんでいるのがわかる。「No.9」では、緑黄色社会の長屋を呼び込み、一緒に歌う。「第九」をモチーフにした楽曲だが、お馴染みの「ラーラーラーラー」の箇所での観客との一体感は、これまた凄まじかった。テンションが上がった東出が長屋にハイタッチを求めに行く姿も何だかグッときた。

最初からずっと盛り上がっていたイベントだが、終盤になるにつれてフロアが少しづつ熱狂でグチャグチャになってきた。「荒狂曲“シンセカイ”」では、よりフロアが盛り上がり、肩車された観客も目立ち始め、一気にステージに向かって押し寄せてくる。2階席から観ていたが、もう、その様は圧巻だった。ラストナンバーは、まさかの新曲「誰が為のレクイエム」。新曲でも、しっかりと盛り上げていく。当たり前の様にアンコールの拍手や歓声が鳴り止まなかったが、本編のみで終了。最後までアンコールを粘っていた観客たちも、実に満足そうに帰っていた。

このライブの様子は、11月15日(金)夜22時からスペースシャワーTVにて放送されるので、是非とも映像でも観て頂きたい。

(取材・文＝鈴木淳史／撮影＝渡邊一生、今村優波)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク メディアマーケティング部 宣伝・PR課  
TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215  
担当:中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net